

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

○6月観光情報

【栗田美術館特集陳列 輸出された伊萬里焼】

17世紀初頭東南アジアからヨーロッパへ遙かな海を越えて運ばれ、近年、日本に戻ってきた伊萬里焼の中から、輸出最盛期である17世紀後期から18世紀のヨーロッパ向け製品を中心に展示します。彼らの生活に取り入れられた日用品の数々や、室内を飾った調度品、さらに特別な注文品など60件余りをご鑑賞いただきます。

日 時:8月27日(日)まで

午前9時30分～午後5時(最終入場は午後4時30分まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)

場 所:栗田美術館(駒場町)

入館料:一般1,250円(1,000円)、小・中・高500円(400円)

()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約15分

問合先:栗田美術館 ☎0284-91-1026

【足利市立美術館企画展 ブラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉 韓国・日本をめぐって】

スロバキア共和国で2年ごとに開催されるブラチスラバ世界絵本原画展は、世界最大規模の絵本原画コンクールの一つです。日本巡回展として行われる本展では、近年の活躍がめざましいアジア諸国に焦点をあて、中でも隣り合う二つの国、日本と韓国のいまをご紹介します。BIB2021に参加した日本と韓国の作家による全出品作と絵本をご覧ください。他、絵本が生み出され読者に届くまでの背景を取材した特集展示、グランプリ他各賞受賞作家の作品をパネルと絵本によりご覧いただけます。

日 時:4月15日(土)～6月4日(日)まで

午前10時～午後6時(最終入場は午後5時30分まで)

休館日:毎週月曜日、祝日の場合は開館し、翌平日が休館

場 所:足利市立美術館(通2丁目)

入館料:一般710円(560円)、高校・大学生500円(400円)中学生以下無料

()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

問合せ先:足利市立美術館 ☎0284-43-3131

【物外軒茶室無料公開】(足利市指定文化財/国登録記念物)

この茶室は、もともと猿田の萬屋三代目 長 四郎三氏よろずや ちよ しろうぞうによって、明治初期に渡良瀬川河畔の萬屋邸内に建てられました。この四郎三という人は、江戸にも聞こえるほどの豪商であったばかりではなく、漢詩、和歌、俳句、書画骨董の収集にも通じる教養人であったと伝えられています。

茶室は表千家不白流(おもてせんけふはくりゅう)の流れを汲むもので、木造平屋の切妻造(きりづまづくり)、三畳台目(さんじょうだいめ)の茶室と三畳の次の間、勝手、水屋からなり、建築に当たっては日本を代表する古筆鑑定家 古筆了仲(こひつりょうちゅう)の指導を受け、慎重を期したと言われています。

春の一日、この茶室に佇むと幕末から昭和にかけて栄えた足利屈指の豪商の奥座敷にタイムスリップしたかのような雰囲気を感じることが出来ます。

日 時:6月の第2日曜日 各日午前9時～午後4時

場 所:物外軒(通6丁目3165-2番地 織姫公民館北側)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より徒歩で約20分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

問合せ先:足利市文化課文化財保護・世界遺産推進担当 ☎0284-20-2230

【初山祭(ペタンコまつり)】

毎年6月1日の足利富士浅間神社の山開きに合わせ、子どもたちの健やかな成長を祈り参拝する初山詣りが行われます。このお祭りは300年くらい前から始まったと伝えられ、足利市の重要文化財に指定されています。

男の子は「さくらの花びらの中に浅間神社」、女の子は「角印(2cm角)の中に浅間神社」の御朱印を押し、無病・息災・開運を祈願します。神前で赤ちゃんの額に神社の御朱印をぺたんと押しってもらうことから「ペタンコまつり」の名で親しまれており、おとなしく御朱印を押される子もいれば、驚いて泣き出してしまふ子もいたり、笑顔を見せる子もいたりと一日中賑わうお祭りです。

日 時:6月1日(木)午前8時頃～午後5時まで

場 所:足利富士浅間神社(田中町)

行 事:額に御朱印等を押して健康等を祈願

交 通:JR両毛線足利駅より車で約7分・徒歩約20分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約3分・徒歩約10分

北関東自動車道足利ICより約15分

問合せ先:足利富士浅間神社社務所 ☎0284-22-4472 (小堀宮司)

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【吉祥寺あじさい弁天まつり】

あじさい寺と親しまれている吉祥寺では今年もあじさい弁天まつり開催がされます。

今年は雑貨、和物、アクセサリー、食品等の販売やハンドパンギターの演奏、ヨガ、弁天祈願法要など盛りだくさんな催しや出店が予定されています。

日 時:6月18日(日) 午前10時～午後4時

場 所:吉祥寺(江川町245)

交 通:JR両毛線足利駅より車で約10分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約10分

問合せ先:吉祥寺 ☎0284-42-6006

【名草ホタルまつり】

足利市名草、名草川流域は、ほたるの保存と再生活動が評価され、平成元年に環境庁(現在は環境省)から「ふるさと生きものの里」として認定されました。

ゲンジボタルの乱舞のピークは、午後8時～午後9時頃で、蒸し暑く雨の降らない夜に多く見られるようです。

日 時:毎年6月10日(土)から25日(日)まで

場 所:名草川沿い(名草地区全般)

交 通:JR両毛線足利駅より車で約25分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

北関東自動車道足利ICより約15分

カーナビ検索は、足利市名草下町752で確認ください。

(この番地は個人宅です。ホタル観賞用駐車場は、この隣になっています)

問合せ先:名草公民館 ☎0284-41-9977

花 情 報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【ハーブ】

1,000㎡のハーブガーデンには、様々なハーブが育ち、その色と香りが楽しめます。

時 期:5月～11月頃まで

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【あじさい】

移り気な花といわれてしまうあじさいですが、一雨ごとに変わる花色の色合いを楽しめます。

時 期:6月上旬～7月上旬

場 所:織姫公園(600株、西宮町)・山前公園(700株、山下町)

中里城跡(福居町)・あしかがフラワーパーク(1,500株、迫間町)

【すいれん】

水辺の花の女王・熱帯性スイレン、紅・紫・白等の色鮮やかな花が涼やかに可憐に咲きほこります。

時 期:熱帯性スイレン(6月下旬～11月下旬)

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

体 験 1

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(八木節の実演は10名以上の団体様で、事前予約をお願いしております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利八木節連合会 ☎0284-71-1214

また、太平記館では「観光八木節太平記館公演」として、足利市を訪れる観光客に、「八木節発祥の地・足利」を知っていただき八木節を通じて観光の振興を図るため、足利市八木節連合会の協力による八木節公演が行われています。

日 時:4月16日(日)～11月中旬の日曜日・祝日

午後2時～午後3時

場 所:太平記館南側駐車場(伊勢町3丁目6-4)

行 事:八木節公演

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

問合先:観光八木節実行委員会(足利市観光まちづくり課内) ☎0284-20-2264

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

体験2

【ブルーベリー】

期間は、6月上旬～8月下旬頃ですが、ブルーベリー園によって収穫期間異なります。また摘み取り体験等につきましては事前に各農園ご確認ください。

問合先:ブルーベリーファームすなが ☎0284-62-0266

白髭農園 ☎090-4011-7659(桑原)

あしかがブルーベリー感動農園 ☎090-3067-1301(井上)